

政策シート

(政策名) 動物園の再生
(予算費目名) 動物園費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

市民が憩い楽しめる動物園とするための運営を行う。
老朽化した園内施設については、動物の福祉向上、特性・特徴などの魅力を引き出す展示ができる飼育施設や、来園者の快適性向上を図る休憩施設などの便益施設への再整備を進める。
来園者、リピーターの増加と満足度向上を図るため、動物ガイドや動物とのふれあい、クイズラリーなどのイベントを充実させる。
また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営をすすめる。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,023,260
	決算	
	事業費 (A)	764,640
	人件費 (B)	258,620
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
入園者数	人	400,000	目標	355,000
			実績	
イベント参加率	%	30	目標	30
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	動物園施設維持管理事業		○		277,464	123,164	20.9	0.7	0.6	1.4	
2	動物愛護教育センター事業		○		105,927	36,487	9.2			1.8	
3	各種イベント開催事業				8,703	3,263	0.6	0.2	0.2		
4	傷病野生鳥獣保護事業				4,982	922	0.3			0.7	
5	動物購入事業				12,100	10,000	0.3				
6	施設整備事業				50,720	39,700	1.5		0.2		
7	再生計画調査検討事業	○	○		8,730	5,230	0.5				
8	公園敷地借上事業				28,050	25,950	0.3				
9	公園用地取得事業				519,531	518,131	0.2				
10	動物園施設整備基金積立金				716	16	0.1				
11	動物園運営経費				6,337	1,777	0.6	0.1			
計					1,023,260	764,640	34.5	1.0	1.0	3.9	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 動物園施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

入園者が安全で安心して快適に利用できるように施設の維持管理をおこない、あわせて市民への憩いの場を提供し、命の大切さ・きずなの尊さを伝え、豊かな社会性を養うことを目的とする。

◇事業の概要

- 入園者が快適に利用していただくための業務委託 汚水処理施設維持管理業務
- 展示動物等の飼養管理
- 飼育実習生の受入・・・県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行なう。
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和58年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	123,164
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	63,464
	一般財源	59,700
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		154,300
人工	正規	20.9
	再任用(h31)	0.7
	再任用(h26)	0.6
	非常勤	1.4

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
入園者数	—	355,000			400000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 動物愛護教育センター事業

◇事業目的・事業対象

家庭動物の飼育指導や新たな飼い主への譲渡などの事業を行なう動物愛護・教育センターの効率的な施設管理を行うとともに、動物園の第2種事業所として効果的な事業実施体制を構築する。また、家庭動物の譲渡活動及び飼主責任の啓発を中心とした愛護事業を進めると同時に、動物を切り口とした教育事業の展開を図る。

◇事業の概要

①庁舎管理経費

電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など

②動物愛護法関係事業

迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など

③教育事業の推進

学年別・習熟度別、動物種別のプログラムを作成し、庄内学園をモデル校として基礎を構築する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成26年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	36,487
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	147
	一般財源	36,340
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		69,440
人工	正規	9.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.8

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
犬の返還譲渡率	—	92			95
猫の生存率	—	32			35
教育活動実施回数	—	25			30

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 各種イベント開催事業

◇事業目的・事業対象

入園者が各種のイベントに楽しみながら参加して、動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらう。

◇事業の概要

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、ナイトZOO、クイズラリー、ニューイヤーフェスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。H24年度から始めた障がい者とその家族を対象に貸し切り無料招待する「ドリーム・イブニング」を実施する。また、定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和58年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,263
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	3,263
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,440
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	0.2
	再任用(h26)	0.2
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
イベント参加率(%)	—	30			30

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 傷病野生鳥獣保護事業

◇事業目的・事業対象

静岡県への委託を受けて、傷ついたり、病気を持った野生の鳥や獣を保護・治療し、自然へ復帰させることにより、自然環境や生態系を保全する。

◇事業の概要

静岡県への委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり病気を持った鳥や獣を保護・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	922
	決算	
	国・県支出	922
	市債	
	その他	
一般財源		
一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,060
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.7

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
傷病鳥獣自然復帰率(%)	—	30			30

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 動物購入事業

◇事業目的・事業対象

展示動物導入計画に沿った展示動物の購入をする。

◇事業の概要

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物賃貸、新規動物購入や死亡、動物の補充などを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和28年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	10,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	10,000
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
契約件数	—	1			1

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 施設整備事業

◇事業目的・事業対象

ユニバーサルデザインに配慮した、入園者が安全で安心して動物を観覧できるように施設の再整備を進め、併せて展示動物の生態、行動、福祉に配慮した飼育環境を提供する。

◇事業の概要

浜松城公園にあった動物園を市制60周年記念事業として、昭和58年に館山寺総合公園へ移転して開園以来、30年余が経過しており、施設や設備の老朽化が著しいため、優先順位を決めて改修を行ないながら、動物展示方法も含めた将来の再整備計画の策定に向けた事務を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和58年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	39,700
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	39,700
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		11,020
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	0.2
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
整備件数	—	1			1

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 再生計画調査検討事業

◇事業目的・事業対象

老朽化した施設・設備の根本的改修など、園内の安全性と快適性を向上させ、展示動物の選択や動物の福祉に配慮した飼育環境を確保するなど、現行の施設をできるだけ活用するなかで、近隣の他園との棲み分けを図り、楽しく学べる学習機能を向上させ、市民のみなさまにお楽しみいただける動物園として存続していくことを目指して再生計画の策定を行う。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.95】

獣舎等施設整備、ゾーニング、動線等の施工が実際に可能であるか具体的に検証する。
実際に必要な工期などの調査、確認等を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成26年度	平成27年度	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	5,230
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	5,230
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
再生計画の策定	95	計画の策定		継続運用	

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 再生計画調査検討事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
▶			
95	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設改修手法の検討(来園者便益施設、獣舎、電気・汚水処理施設等) ・継続飼育動物の検討。 ・動物展示手法、ゾーニングの検討。 ・園内のユニバーサルデザイン化。 			

事業シート (事業名) 公園敷地借上事業

◇事業目的・事業対象

将来に向けて、引き続き館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため。

◇事業の概要

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。

借地内訳

H27.4.1現在

借地面積 122,128㎡

所有者数 32名

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和54年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	25,950
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	25,950
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
公園内民有地の借り上げ契約率	—	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 公園用地取得事業

◇事業目的・事業対象

将来に向けて館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため、現在の借地を買収し市有地とする。

◇事業の概要

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なう。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和58年度	—	一般会計	昭和58年度		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	518,131
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	498,696
	一般財源	19,435
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
公園用地買取契約	—	32			32

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 動物園施設整備基金積立金

◇事業目的・事業対象

浜松市動物園施設整備基金の適正な管理をおこなう。

◇事業の概要

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、元金と基金運用収入を積み立てる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和45年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	16
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	16
	一般財源	
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
年間積立金額	—	16			16

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 動物園運営経費

◇事業目的・事業対象

安全で適正な施設管理運営を行う。

◇事業の概要

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和58年度	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,777
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,777
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,560
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	0.1
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
	—				

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み